



おばた 和仁

■おばた和仁(かずひと)

〒181-0012 三鷹市野崎1-1-1

三鷹市役所内立憲民主緑風会

TEL 080-3046-0741(おばた)

Eメール info@obatakazuhito.tokyo

HP <https://obatakazuhito.tokyo>



11月30日、第4回定例会初日に一般質問をしました！

今回の市政に関する一般質問は次の5テーマでした。

- ① 井の頭地区におけるコミュニティ交通について
- ② 国立天文台周辺のまちづくりについて
- ③ 三鷹駅南口中央通り東地区再開発のイベントホールについて
- ④ オーガニック給食の導入について ※まずは、お米から。オーガニック給食の導入可能性について議論しました！
- ⑤ スマートシティ三鷹の実現「生成AIの活用」について

主な論議のポイントは裏面をご覧ください。

また、三鷹市議会HPで、一般質問の録画中継がご視聴になれます。

河村市長とのやり取りについては是非ご覧ください。

■市民の声を大切に

よく、話しやすいと言われます。なにごとにも誠実に対応します！市政への要望など、お気軽にご相談ください。

■損害保険会社で豊富な経験

日本各地で、保険を通じたまちづくりに関わりました。民間企業の発想で、三鷹の課題に取り組みます。

■社会人向け大学院に在学

専門性やエビデンスに裏打ちされた政策を提案します。

■三鷹生まれ、三鷹育ち

私の原点は三鷹ですが、さまざまな地方で生活したことで、三鷹を客観的に見ることができます。

■現在: 三鷹市議会議員2期目、まちづくり環境委員会(副委員長)など
三鷹ハンディキャブでボランティア活動
東京大学大学院在学(都市工学専攻/まちづくり研究室)

■これまで: 三鷹幼稚園、南浦小、三鷹一中、都立国立高校、横浜国大経済学部、元東京海上日動社員 30年

■趣味: 水泳、テニス、ドラム演奏、社交ダンスなど



立憲民主党 立憲民主編集部 号外

〒101-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

電話 03-3595-9988 (代表)

井の頭地区の小型 EV 車両、経費削減策について議論！

■POINT 来年5月から現在の小型EV車両の実証運行からAIデマンド交通の実証運行に変更される予定です。このことは大いに歓迎するのですが、三鷹市は、現在毎日10人(その約半分の方々が無料チケットで乗車)ほどしか利用しない小型EV車両の実証運行を、なぜ来年5月まで継続運行するのでしょうか。そこで、来年5月までの小型EV車両の実証運行に関わる毎月100万円を超える経費の削減について、議論しました。実証運行を継続するにしても、2日に1日の運行にする、乗務員を現在の2名から1名にするなど、市は経費削減策を検討すべきです。

国立天文台周辺のまちづくり、市内各地での説明会実施を要望！

■POINT 市長は11/23に実施された羽沢小学校での市民向け説明会に出席されませんでした。説明会に出席しないことは、市民との対話や協力の機会を損失することにつながり、市民の計画への理解や受容が難しくなると指摘。また、七中、大沢台小、羽沢小を一つにする小中一貫校の方針が示されました。この教育方針の転換は市全体に影響を及ぼす可能性があります。羽沢小学校だけの説明会ではなく、三鷹市内各所で説明会をおこなうべきであることを議論しました。

国立天文台周辺のまちづくりは、市民意見を聞きながら丁寧に進めることが重要です。

■POINT 現時点で予定される計画案から、おおまかな事業予算額を市民・議会に提供することは計画の透明性を高めます。市は、なかなか事業予算額を示しません。しかし、最終計画が確定していない段階でも一定程度のコスト見積もりの提示は可能はずです。市長から、予算見積もり額の提示を検討する旨の答弁が、今回ようやくありました。大きな前進です。

三鷹駅前にはイベントホールではなく、滞在型図書館を要望！

■POINT イベントホールは特定のイベント時に利用されますが、滞在型図書館は日常的に多くの市民に利用され、持続的な影響を持つことができます。滞在型図書館は、文化・学習施設、コミュニティの中心、学の舎(まなびや)としての役割を果たし、市民の交流を促進する場、子どもたちの学びの場となります。市長は、こうした市民、地域に与えるポジティブな影響をもっと考慮すべきです。

重点5政策 「住みたくなるまち・三鷹」に全力で取り組みます！

①すべての人が主役となるまち・三鷹

三鷹市自治基本条例に基づいたまちづくり。スクールコミュニティの基盤となる小学校単位の地域運営組織(原則、NPO法人化、近隣住民参加)を全市に展開し、新たなコミュニティ創造(学校3部制)に挑戦します。

②子どもから高齢者まで、みんなが安心のまち・三鷹

人権基本条例(仮称)に基づいたまちづくり。通学路のゾーン30+化、大規模地震対策や地域福祉コーディネーター(現在3名体制)のスピーディな全市展開(小学校区に1名配置で15名体制)にも取り組みます。

③子どもを守り育てるまち・三鷹

画一的な授業を見直し、主体的に学ぶ力を育み個別最適な学びを実現します。また、いじめのない学校に全力で取り組みます。学童保育と地域子どもクラブの一体化、幼稚園・保育所の質の向上にも取り組みます。

④すべての人が活動的になるまち・三鷹

デマンドバスとLRT(次世代型路面電車)誘致をパッケージに、市内公共交通網を充実させマイカーが不要な便利なまちにします。また、空き家の活用により特色ある店舗を誘致し、市内商業を活性化します。

⑤持続可能なまち・三鷹

現在の緑と水の環境を守ります。また、広域連携による安全な食料自給の確立、2050年カーボンニュートラルを目指した再生可能エネルギーの利活用推進に挑戦します。